

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。
なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 1市1町3村による共同学校事務室のとりくみ

【背景と目標】

令和元年度より長野県の大田市・北安曇郡1市1町3村による共同学校事務室が設置された。（「北アルプス学校間連携運営委員会」・・・大田市、池田町、松川村、白馬村、小谷村の小11校、中7校、義務教育学校1校計19校で構成）

事務機能の強化、業務の効率化を進めながら、業務改善等による教員支援も行っていくこと等を目的としている。この地域の学校に2年間勤務する中での報告。

【協働・取組】

北アルプス学校間連携共同学校事務室の主な活動としては、4つのエリア毎に開催される「エリア研修会」（各校業務の相互チェック（認定事務、実績給支給等）や事例研究、情報交換等）と全体研究（共同学校事務室の活動をいかに機能させていくかが主なテーマ）、課題別グループ研究等がある。（課題別は「学校運営」「教員支援」「財務研究」「業務改善」をテーマに位置付け、グループ毎に研究活動を行う。）各グループの研究課題は以下のとおり。

「学校運営」・・・教育目標の達成に寄与すること、教員の事務処理負担の軽減。

「教員支援」・・・共同学校事務室「広報」の作成。教職員向けの「周知資料」の作成等。

「財務研究」・・・備品管理業務を整備し、教職員の「業務改善」につなげる。

「業務改善」・・・規程や帳票等の「標準化・簡素化」による業務改善。

「北アルプス学校間連携共同学校事務室」は令和2年度より活動が始まった組織。広域連合による組織で、若年者も多く、活動自体は「まだまだこれから」といった感は否めないが、着実に活動を進めている。

【成果と課題】

個人としてのとりくみでは、エリア研修会では互いに学び合う精神を大切に、若年層からベテランまで同じ立ち位置で業務を確認しあうことを念頭に置いていた。課題別研究では「教員支援」Gに所属し「共同学校事務室だより」を作成。校務支援ソフトを活用して教職員個々へ配信し、共同学校事務室への理解を求めた。また、これまで作成してあった周知資料の整備をグループで行い、リニューアルして各校へ配信した。

共同学校事務室の目的や活動について、所管する市町村教育委員会や郡市校長会、エリア内各校の教職員へ周知することが「形」となったことは良かったと考えている。

【教訓】

活動を継続していくことが大切。その積み重ねにより事務職員の業務・活動への理解につながり、教職員間の連携・協働にも活かされることになると考えている。

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	③	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	③	4	5